## 手をとりて美しき国を

(昭和二十八年寮歌

倒れたる友の姿を

若者の槌音に和し 新しき緑の息吹があたらかとりいぶき 恐ろしき雲空に充ち 忘るまじ我らが胸に けがれたる祖国の山河に

もろ人の幸深めつつ この町にこだます日まで

消すまじ自由の歌をたる。 沸き出でよ新らしき歌

美しき歌声に和しずつく 海こえてこだます日まで 平和なる国を築くと

たくましき若き鼓動が 去り果てし若き生命に わだつみの声をばひめて

> 山本玉樹君 三河勝彦君 作曲 作歌